

令和7年度 第75回

高知県

KOCHI ART FESTIVAL 2025

芸術祭

令和7年

9.13(土) ▶ 12.14(日)

県民の文化芸術活動を支援・発信していきます。

事業実施
報告書



令和7年度

第75回 高知県芸術祭事業実施報告書

目次

| | |
|--|----|
| 第75回高知県芸術祭を顧みて 高知県芸術祭執行委員会 委員長 新納朋代 | 1 |
| 第75回高知県芸術祭 概要・日程表 | 2 |
| 助成事業「KOCHI ART PROJECTS 2025」選考結果・実施報告 | 4 |
| 助成事業「KOCHI ART PROJECTS 2025」事業報告会 | 7 |
| 第54回高知県文芸賞 概要・受賞者一覧 | 9 |
| プレイベント「高知小津高等学校書道パフォーマンス」 | 12 |
| オープニングイベント「まちなかアート行進曲」 | 13 |
| メインイベント「国際音楽交歓コンサート2025高知公演」 | 13 |
| メインイベント「リズム・フェスタ！ inしまんと」 | 15 |
| スペシャルイベント「げいぶん寄席2 笑楽座in弁天座」 | 16 |
| クロージングイベント「まちなかアートステージ」 | 17 |
| 共催行事 | 18 |
| 協賛行事 | 22 |
| 高知県芸術祭執行委員会 委員名簿 | 34 |

第75回高知県芸術祭を顧みて

高知県芸術祭執行委員会
委員長 新納 朋代

今年で75回目を迎えました『高知県芸術祭』は、広く県民が芸術に親しみ、高知の文化芸術の魅力を発信、再発見する事業として毎年秋に開催しております。これまで多くの方々の温かいご支援、ご協力により無事に開催し続けてこられましたことに、改めて厚く御礼を申し上げます。

今年度は、9月13日(土)～12月14日(日)の約3か月間にわたり、7つの主催事業をはじめ、助成事業「KOCHI ART PROJECTS」15、共催行事23、協賛行事63の計108行事が実施され、参加者総数は336,893人*となりました。

主催事業としまして、プレイベント「高知小津高等学校書道パフォーマンス」をイオンモール高知1階南コートにて開催し、会場は多くの来場者で賑わいました。イベントの様子は各報道機関で取り上げられ、芸術祭の開幕を広く周知することができたと考えております。オープニングイベントは、高知学芸中学高等学校吹奏楽部と丑之助学園鼓笛隊によるパレード「まちなかアート行進曲」を帯屋町筋商店街を舞台に行いました。そして、メインイベントとして「国際音楽交歓コンサート2025高知公演」を高知市と安芸市の2会場で開催いたしました。その他にもメインイベントとして「リズム・フェスタ！ inしまんと」を窪川四万十会館で、クロージングイベント「まちなかアートステージ」を金高堂本店ウッドデッキにて行いました。また、スペシャルイベントと題しまして、昨年度ご好評をいただいた寄席のイベントを、「げいぶん寄席2 笑楽座 in 弁天座」として開催いたしました。

一方、県内の多くの方々から応募をいただいております「高知県文芸賞」は、今年で54回目となり、短編小説・詩・短歌・俳句・川柳の5部門で延べ869人から2,221作品の応募がありました。文芸賞及び文芸奨励賞には中高生を含む27人の方々選ばれ、佳作受賞者は32人となりました。今年度の応募作品数は過去2番目に多く、幅広い年代の方にご参加いただきました。今後も、多くの方々に文芸創作活動に取り組んでいただけるよう、より一層広報等

に力を入れていきたいと思っております。

本報告書では、第75回高知県芸術祭の成果をまとめております。現代の芸術文化事業は個人の趣味としての鑑賞機会の提供のみならず、まちづくりや観光、教育、国際交流、産業その他分野との緊密な連携がなされています。こうした状況を背景に、「芸術祭」のあり方はまだまだ検討の余地がございます。“進化し続ける芸術祭”を目指し、新しいアイデアも取り入れていきたいと思っておりますので、今後ともご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

.....

*事業数・参加人数

◆主催事業

・プレイベント

「高知小津高等学校書道パフォーマンス」…250人

・オープニングイベント

「まちなかアート行進曲」…600人

・メインイベント

「国際音楽交歓コンサート2025高知公演」

…1,224人(高知市)・404人(安芸市)

・メインイベント

「リズム・フェスタ！ inしまんと」…210人

・スペシャルイベント

「げいぶん寄席2 笑楽座 in 弁天座」…211人

・クロージングイベント

「まちなかアートステージ」…526人

・「第54回高知県文芸賞」…869人(2,221作品)

◆助成事業 「KOCHI ART PROJECTS 2025」

…15事業実施・4,746人

◆共催行事 23行事実施・99,999人

◆協賛行事 63行事実施・227,854人

第75回高知県芸術祭 概要

◆芸術祭とは

広く県民が芸術に親しみ、また高知の文化芸術の魅力を発信、再発見する事業

◆高知県芸術祭の方針

- ①子どもから大人まで広く県民が生涯にわたって様々な文化芸術に親しむ機会を創出する
- ②地域文化の創造と伝承を支援し、地域活力を創出する
- ③県内各地域に賑わいを創出し、活力ある高知県を目指す



| | |
|------|--|
| 開催期間 | 令和7年9月13日(土)～12月14日(日) |
| 主催 | 高知県・公益財団法人高知県文化財団 |
| 主管 | 高知県芸術祭執行委員会 |
| 後援 | 高知県教育委員会、NHK高知放送局、高知新聞社、RKC高知放送、 KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、KCB高知ケーブルテレビ、エフエム高知 |

令和7年度 第75回高知県芸術祭 日程表

| 日程 | 内容 |
|--------|---|
| 4月30日 | [KOCHI ART PROJECTS 2025] 募集チラシ・要項 発送 (締切：5月31日) 芸術祭参加団体募集のご案内 発送 (締切：8月25日※ガイドブックへの掲載を希望する場合は7月14日) |
| 6月17日 | 第1回高知県芸術祭執行委員会およびKAP審査会 (高知県立美術館・2階会議室) ＜報告事項＞令和6年度高知県芸術祭実施報告 令和6年度高知県芸術祭収支決算について 令和7年度芸術祭の進捗状況について ※執行委員会終了後、KAP一次審査会を開催 |
| 6月24日 | 第54回高知県文芸賞作品募集チラシ 発送 (締切：9月30日) |
| 8月20日 | 芸術祭公式ガイドブックおよびポスター 発送 |
| 8月25日 | プレイベント「高知小津高等学校書道パフォーマンス」(イオンモール高知1階南コート) |
| 9月10日 | 第2回高知県芸術祭執行委員会 (書面報告) ＜報告事項＞令和7年度第75回高知県芸術祭共催・協賛事業について KAP助成事業視察について |
| 9月13日 | 第75回高知県芸術祭開幕 オープニングイベント「まちなかアート行進曲」(帯屋町筋商店街) |
| 9月22日 | ゆすはらアーティスト・イン・レジデンス2025 (KAP助成事業) ※9月28日迄 |
| 9月23日 | Washi+活動10周年記念事業 (KAP助成事業) ※10月19日迄 |
| 9月28日 | 小さな土蔵の建築展 (KAP助成事業) ※11月16日迄 |
| 10月8日 | メインイベント「国際音楽交歓コンサート2025高知公演」(高知県立県民文化ホール オレンジホール) |
| 10月9日 | メインイベント「国際音楽交歓コンサート2025高知公演」(安芸市民会館大ホール) |
| 10月11日 | 2025年度中土佐一現代美術プログラム「た、たら、」(KAP助成事業) ※11月1日迄 |
| 10月21日 | 第54回高知県文芸賞審査会 (高知県立美術館・2階会議室等) ※10月23日迄 |
| 10月24日 | チッタナターレ高知公演ベルカントオペラの魅力 オペラ「セビリアの理髪師」他 (KAP助成事業) ※10月25日迄 芝居・音楽・アートが自然の中で共振する野外イベント「アイトイシキ」(KAP助成事業) ※10月26日迄 |
| 10月25日 | 立川御殿音楽祭 (KAP助成事業) 記録映像「魚梁瀬」の60年 製作+上映事業 (KAP助成事業) ※10月26日迄 |

| 日程 | 内容 |
|---------------|--|
| 11月1日 | 月灘ART PROJECT 2025 (KAP助成事業) ※11月30日迄 |
| 11月2日 | 中浜劇場 <<ちいき一日映画館>> (KAP助成事業) |
| 11月9日 | 魚梁瀬杉ヴァイオリンが奏でる未来への響き (KAP助成事業) |
| 11月21日 | 風のカレンダー 2026原画展 12の障害者施設×12の文化施設 (KAP助成事業) ※11月24日迄 |
| 11月22日 | 狐の夜市 (嫁入り行列) (KAP助成事業) Growing Culture Lab of Tosashimizu - 地域文化の芽を育てる、遊びと交流の実験 - (KAP助成事業) |
| 11月23日 | 四万十町横断サーカスプロジェクト「しまんと一座～河童がつなぐ文化の環～」(KAP助成事業) ※12月14日も実施 |
| 11月24日 | メインイベント「リズム・フェスタ! in しまんと」(窪川四万十会館) |
| 11月30日 | スペシャルイベント「げいぶん寄席2 笑楽座 in 弁天座」(弁天座) |
| 12月7日 | 第54回高知県文芸賞表彰式 (高知県立文学館ホール) |
| 12月14日 | クロージングイベント「まちなかアートステージ」(金高堂本店ウッドデッキ) 第75回高知県芸術祭閉幕 |
| 令和8年 1月25日 | 助成事業「KOCHI ART PROJECTS 2025」事業報告会 (高知県立美術館 1階講義室) |
| 3月30日 | 第3回高知県芸術祭執行委員会 (高知県立美術館・2階会議室) ※予定 |

注) KAP…KOCHI ART PROJECTS

**高知小津高等学校
書道パフォーマンス**

日時 令和7年8月25日(月)
13時30分～
会場 イオンモール高知
1階南コート

※申込不要
※会場までお越しください

高知市書道会
よまこい高知文化祭2026

●イベント

まちなかアート行進曲

高知学芸中学高等学校吹奏楽部・丑之助学園鼓笛隊

令和7年
9月13日(土) 帯屋町筋商店街

14:30 オープニング挨拶
14:40 パレードスタート
ひなめ市場前 ▶ 東洋電化中央公園

※申込不要
※会場までお越しください

高知市書道会
よまこい高知文化祭2026

●オープニングイベント

国際音楽交歓コンサート 2025

INTERNATIONAL MUSIC EXCHANGE CONCERT

10/8 (水) 18:30開演
10/9 (木) 18:30開演

高知市立音楽ホール

※申込不要
※会場までお越しください

高知市書道会
よまこい高知文化祭2026

●国際音楽交歓コンサート

リズム・フェスタ! in しまんと

笑顔も精熟も
すべてはリズムから始まる!

2025.
11/24 (月・祝)

開場 13:00 開演 13:30
窪川四万十会館
(高岡郡四万十町香月丘8番102号)

入場無料 直接会場にお越しください

●メインイベント

げいぶん寄席

令和7年
11月30日(日)
開場12:30 開演13:30
弁天座
(香南市赤岡町795番地)

※申込不要
※会場までお越しください

高知市書道会
よまこい高知文化祭2026

●スペシャルイベント

まちなかアートステージ

2025 12.14 (日) 13:30 - 15:00

金高堂本店ウッドデッキ
(高知市茶屋町2-1 公署野町テナント1F)

高知市長紙巻を飾めく(くも)道まるミニコンサート
美しい音でハートをお楽しみください

高知小学校 | 土佐女子中高等学校コーラス部
ラダーマーシー | 高知学芸高等学校吹奏楽部 (出演順)

※申込不要
※会場までお越しください

高知市書道会
よまこい高知文化祭2026

●クロージングイベント

KAP KOCHI ART PROJECTS 2025

アートで彩る
高知の秋

1事業あたり
助成金額 30万円

令和7年度 第75回高知県芸術祭助成事業

※申込不要
※会場までお越しください

高知市書道会
よまこい高知文化祭2026

●KAP

高知県文芸賞

作品募集

第54回

令和7年9月30日(火)

※申込不要
※会場までお越しください

高知市書道会
よまこい高知文化祭2026

●文芸賞

助成事業 「KOCHI ART PROJECTS 2025」

KOCHI ART PROJECTS (KAP) は「地域×アート」をコンセプトに、県内の地域住民が主体となって、文化芸術を通して地域を元気にする事業に対して行う助成事業（上限30万円）です。平成26（2014）年から始まり、今年度で12回となりました。

選考結果 応募 26団体・個人 採択 15団体・個人

実施報告 *開催日順

■本報告は、各団体から提出された実施報告書を基に作成しており、来場者の反応や成果等の詳細は高知県芸術祭ホームページに掲載しています。

ゆすはらアーティスト・イン・レジデンス 2025

【主催者】 ゆすはらアーティスト・イン・レジデンス 2025

●レジデンス 9月22日（月）～28日（日）

公演 9月28日（日）／ゆすはら座（高岡郡梶原町梶原）

【内容】東京で活躍する舞踊家・俳優の^{ます きしろうえん}鈴木翔媛氏と梶原町内を取材、見学しながら舞台公演作品の制作を行い、9月28日にその成果発表を行いました。（作品タイトル：「山のこえ」）【入場者数】92人 **助成額：261,198円**



Washi+活動10周年記念事業

【主催者】 Washi+

●9月23日（火・祝）～10月19日（日）／いの町紙の博物館（吾川郡いの町）

【内容】Washi+の活動に携わって頂いた農家の方、用具職人や紙漉き職人の方々のアーカイブの展示と10年の活動を振り返る展示・上映会を行いました。液晶10台を会場内に並べ過去のインタビュー動画、制作した舞台の映像を再生、人々の物語や文章、写真も展示。別室では特別上演会も実施。最終日にはミニパフォーマンスも行いました。【入場者数】2,021人（紙の博物館入場者数）、（うち、特別上演会入場者延べ20人、ミニパフォーマンス入場者25人） **助成金：30万円**



小さな土蔵の建築展

【主催者】NPO法人すてきなまち・赤岡プロジェクト

●ワークショップ：9月28日（日）

・展示：10月11日（土）・19日（日）・25日（土）・11月8日（土）・16日（日）

・案内ツアー：10月19日（日）・11月16日（日）／赤れんが商家（香南市赤岡町）

【内容】国登録有形文化財である旧小松家住宅・通称「赤れんが商家」にて、地域の歴史や建築の特徴を紹介する展示を行いました。展示を作る過程もワークショップにより行い、展示・建築ツアーを開催しました。展示構成は第一部「香南の商都赤岡」第二部「まちのシンボル赤れんが商家」第三部「町家をつくる技術」第四部「町家に見える暮らし」の四部構成としました。

【参加者・入場者数】ワークショップ：20人・展覧会：40人・建築ツアー：12人 **助成金：30万円**



2025年度中土佐一現代美術プログラム「た、たら、」

【主催者】中土佐一現代美術プログラム「た、たら、」実行委員会

- 10月11日（土）～11月1日（土）／上ノ加江公民館（高岡郡中土佐町上ノ加江）、黒潮本陣（高岡郡中土佐町久礼）、土佐久礼駅（高岡郡中土佐町久礼）、中土佐町大野見庁舎（高岡郡中土佐町大野見吉野）

【内容】昨年度開催した中土佐一現代美術プログラム「上ル。」に続く展示となっており、大野見在住の美術家1名、上ノ加江に拠点を持つ美術家1名、佐賀県在住の美術家2名、高知市のギャラリー「十月」の主宰幾野雄也の計5名による土地や人の歴史とそのあり方、私たちの現在と未来を重ね合わせ展示を行いました。

【入場者数】約500人 助成金：30万円



チッタナターレ高知公演ベルカントオペラの魅力 オペラ「セビリアの理髪師」他

【主催者】チッタナターレ高知公演実行委員会

- ①10月24日（金）／高知小学校（高知市）
- ②10月25日（土）／高知市文化プラザかるぼーと龍馬学園イベントホール（高知市）

【内容】オペラの魅力を広く伝えることを目的に開催。マイクを通さない歌声の響きを聴き、発声を体験し、オペラの見方に触れていただきました。小学校ではオペラのクイズなどでご紹介するなど、オペラに初めて触れる小学生も楽しめる内容にしました。本公演では漫画を背景にオペラのダイジェストを楽しんでいただきました。【入場者数】①10月24日（金）高知小学校特別公演：小3～小6の児童全員約260人②10月25日（土）かるぼーと：171人 助成額：30万円



芝居・音楽・アートが自然の中で共振する野外イベント「アイトイシキ」

【主催者】アイトイシキ実行委員会

- 10月24日（金）～26日（日）／アウトドアフィールドKASHINISHI（幡多郡大月町榎ノ浦）

【内容】大月町の美しい海辺のキャンプ場に大規模な野外舞台を製作し「愛と意識」をテーマに芝居、音楽、ダンス、ライブアートを上演。県内外のアーティストと協働し、地域の芸術文化の活性化や関係人口を増やしました。県外で活動するバンドやDJが多数参加し、幡多地域で活動しているアーティストと交流を図りました。地域の飲食やクラフト作家の出店者、近隣地区婦人部と連携したマーケットブースで地域経済の活性化を支援。【参加者数】152人 助成額：30万円



立川御殿音楽祭

【主催者】立川地区活性化推進委員会

- 10月25日（土）／旧立川番所書院（長岡郡大豊町立川）

【内容】「歴史×音楽×地域の融合」をコンセプトに、地域の拠点でもあり、国の重要文化財にも指定されている「旧立川番所書院」の積極的な活用及び大豊町立川地区の活性化を目的として行われるコンサート。大豊町出身のマリンバ演奏者や宿毛市の演奏家、そしてフラメンコの講師も招待し、旧立川番所書院を舞台に参加者が生演奏やダンスを楽しむことによって、立川地区の地域住民の交流及び地域の活性化を図りました。

【入場者数】約120人 助成額212,423円



記録映像「魚梁瀬」の60年 製作＋上映事業

【主催者】NPO法人 地域文化計画

●10月25日（土）・26日（日）／
魚梁瀬多目的施設 大ホール（安芸郡馬路村魚梁瀬）

【内容】映像「魚梁瀬の60年」（36分）を製作し、馬路村魚梁瀬で開催された魚梁瀬ダム60周年記念イベントで上映しました。

【入場者数】90人 助成額：30万円



月灘ART PROJECT 2025

【主催者】アトリエ「お月さん桃色」

●11月1日（土）～30日（日）／
大月町文化教育交流拠点COSA（幡多郡大月町小才角）

【内容】溝淵泰史の洋画と溝淵博彦の写真の展示。地域音楽グループ（ミルクティー、エスコート）職員室ライブコンサート。組子作家の濱中伸也の木造ドーム組み立てワークショップ。サンゴ漁で栄えた小才角集落村歩き歴史講座、台湾香港周辺、尖閣諸島周辺、ミッドウェーに出漁したサンゴ漁師の体験談など1ヶ月間の芸術祭。【参加者数】185人 助成額：30万円



中浜劇場《ちいき一日映画館》

【主催者】一般社団法人 清水サーバ

●11月2日（日）／中浜会館（土佐清水市中浜）

【内容】映画上映会：昭和29年に中浜集落で撮影された「足摺岬」の映画を上映しました。地域ツアー：昭和29年「足摺岬」、昭和36年「雲がちぎれる時」が撮影された時の中浜集落の住民が所有する写真と現況写真を並べたパネルを作成し、実際に現場をめぐる「中浜集落あるきツアー」を実施しました。

【参加者数】映画上映会78名、ロケ地めぐり地域ツアー11名 助成額：30万円



魚梁瀬杉ヴァイオリンが奏でる未来への響き

【主催者】Le son de H

●11月9日（日）／高知県立美術館ホール（高知市）

【内容】県産材魚梁瀬杉によって製作されたヴァイオリンの音色を地域の方々に体験していただき、魚梁瀬杉の新たな魅力と可能性を見出すコンサート。

【入場者数】141人 助成額：17万円



風のカレンダー 2026原画展 12の障害者施設×12の文化施設

【主催者】合同会社 風

●11月21日（金）～24日（月・振休）／高知県立美術館県民ギャラリー（高知市）

【内容】弊社が制作する県内の障害者就労支援施設の利用者の方が描いた数字や曜日デザインしたカレンダーの原画展。制作に参加する施設は12ヶ所。今回は県内12の文化施設とコラボし、約200名の施設利用者の方が描いた数字や曜日の原画を展示しました。【入場者数】約200人 助成額：30万円



狐の夜市（嫁入り行列）

【主催者】 狐の嫁入り実行委員会

●11月22日（土）／香南市赤岡町本町通り

【内容】江戸期の町並みが残る古民家を活用し、住民らが狐に扮して赤岡の夜の町を練り歩く「狐の嫁入り行列」を実施しました。ほかにも現代のアーティスト作品を古民家の軒先に展示する企画「夜ののきさき美術館」の実施や、オープンカフェも実施し地域の活性化に取り組みました。【入場者数】 500人 助成額：235,702円



Growing Culture Lab of Tosashimizu –地域文化の芽を育てる、遊びと交流の実験–

【主催者】 正木恭子

●11月22日（土）／イベントハウス「弥栄」（土佐清水市栄町）

【内容】土佐清水市の文化的な環境を豊かにし、若い世代を中心とした交流の場をつくることを目的に、手づくり楽器アーティストでイギリス在住の音楽家ICHIによるライブを開催した他、ICHIによる楽器作り、クリスマスツリーキャンドル作り等3つのワークショップを実施。カフェや市外からの出店により、地域内外の人々が気軽に集い、つながる機会を創出しました。

【入場者数】ワークショップのべ40人、ライブ参加43人 助成額：291,236円



四万十町横断サーカスプロジェクト「しまんと一座 ～河童がつなぐ文化の環～」

【主催者】 松葉川大道芸教室

●11月23日（日・祝）・12月14日（日）／
四万十町内3地区 窪川四万十会館（高岡郡四万十町窪川）・
きらら大正（高岡郡四万十町大正）・CUEキュー。（高岡郡四万十町十川）

【内容】四万十町を舞台に、河童伝説をもとにした物語とサーカス演技を融合させた市民参加型舞台芸術活動を実施。町内各地の子ども・若者・大人が世代を超えて協働し、旧町村を横断する新たな文化の流れを創出する取り組み。【参加者数】 70人 助成額：24万円



助成事業「KOCHI ART PROJECTS 2025」事業報告会

●令和8年1月25日（日）13:00～16:40 高知県立美術館 1階 講義室（高知市高須353-2）

●報告団体に対する執行委員等の主なコメント（報告順）

*報告会の詳しい内容はホームページをご覧ください。

■中浜劇場<ちいき一日映画館>（主催：一般社団法人 清水サーバ）

開場して15分でほぼ満席でした。地域の方の関心が非常に高く、楽しみにされていることがよくわかりました。

■月灘ART PROJECT 2025（主催：アトリエ「お月さん桃色」）

やれること全部盛り込んでいました。事業内容、ワークショップ、トーク、作品展示、その見せ方も十分。私はトークに参加しましたが、歴史的な内容も踏まえて、聞きごたえ十分でした。次はやらないのかとポジティブな意見もありました。

■芝居・音楽・アートが自然の中で共振する野外イベント「アイトイシキ」（主催：アイトイシキ実行委員会）

距離的なハードルがある場所で、これだけのことをやっている、と最初正直とても驚きました。結構地元の方が散歩されていて、何をやっているのかと質問されました。知っていたら予定を組んで来たということだったので、これからも拡張性のあるイベントだと感じました。

■四万十町横断サーカスプロジェクト「しまんと一座～河童がつなぐ文化の環～」(主催：松葉川大道芸教室)

大道芸では地域外の大学生が出演し、失敗した学生もいましたが、発表の場がないと上手くならないので、遠いところで発表の場が設けられたことはすごく意味のあることだと思います。

■チッタナターレ高知公演ベルカントオペラの魅力 オペラ「セビリアの理髪師」他(主催：チッタナターレ高知公演実行委員会)

本公演前に小学校でオペラについて勉強し、翌日本番を観に来るといのは、点と点がつながり線になるモデルケースになったと思います。オペラのストーリーを紹介する漫画の投影もすばしかったです。聴き終わった後の余韻が長かったというのも、今回の特徴だと感じました。

■狐の夜市(嫁入り行列)(主催：狐の嫁入り実行委員会)

想像以上にたくさんのお客様がいられて、かつ非常に非日常的な空間が出来上がっていました。夜のイベントというのは、一番地元にお金が落ちる形なので、このような取組みが隙間なく続いていくと賑わいがどんどん増えていくという気がしました。

■Growing Culture Lab of Tosashimizu-地域文化の芽を育てる、遊びと交流の実験-(主催：正木恭子)

文化の地域格差の解消ということと、子ども時代に多様な文化に触れる機会を創出するところを明確に打ち出していました。音楽・アートでゆるやかにつながる事で、地域活性化につなげようとする取り組みは意義深いと感じました。

■小さな土蔵の建築展(主催：NPO法人すてきなまち・赤岡プロジェクト)

NPO法人自ら、赤れんが商家を買い取り、地域のアイデンティティ向上に努めている事が素晴らしいと感じました。絵金祭りの風景を残すには、軒先を残す必要があるという建築家の視点に目から鱗が落ちました。

■風のカレンダー 2026原画展 12の障害者施設×12の文化施設(主催：合同会社 風)

障害者の方の単なるもの作りではなく、外へ一歩踏み出して外の世界との交流がなされていました。作品を観ると、話を聞いたり観たことに対する自分の想い・感覚・感情を、個性を出して数字の絵に表していることに意義深さを感じました。

■ゆすはらアーティスト・イン・レジデンス2025(主催：ゆすはらアーティスト・イン・レジデンス2025)

終わった後、皆さんの表情が非常に満足度の高い表情をされていました。アンケートの意見「子どもたちの着物の着付けがだらしく可哀想」に続く「ご相談ください」は、お二人が地元にしかりと入っている証拠だと思います。

■立川御殿音楽祭(主催：立川地区活性化推進委員会)

決してアクセスの利便性の高いところではないにも関わらず、クオリティの高いイベントが行われていました。高知県内の外部との接点、交流を増やしているということも13年の歴史があるからだと思います。修繕でイベントは一旦なくなるということですが、何らかの形で再開、再出発できるとよいと思います。

■魚梁瀬杉ヴァイオリンが奏でる未来への響き(主催：Le son de H)

いろんなところで説明して下さったり、温かい雰囲気の中でコンサートが行われていたことに感動しました。何より嬉しかったのは小さいお子様たちも聴いてくれていたことです。これをひとつの足掛かりにして色んなところで演奏を続けていって下さったらいいなと思います。

■記録映像「魚梁瀬」の60年」製作+上映事業(主催：NPO法人 地域文化計画)

魚梁瀬は、土佐の経済を支えてきた代表的な林業地域だが、産業構造の変化によってそのあり方は大きく変化してきました。県民としても地域住民としても60年を機に振り返るといのは大変意義あることだと思います。

■2025年度中土佐-現代美術プログラム「た、たら、」(主催：中土佐-現代美術プログラム「た、たら、」実行委員会)

そもそも懸念されていたところだとは思いますが、面的な広がりが出た一方で来場者の方とのコミュニケーションが希薄になったのではないのでしょうか。学校との連携のようなところで、まだまだ広がり、深まっていく要素があると思います。どんどん広がっていったらいいなと思います。

■Washi+活動10周年記念事業(主催：Washi+)

存続の危機にある土佐和紙の全てについて、そこに関わる人々の紹介や、和紙の魅力を広める活動を10年間も継続されたことに敬服します。演劇・ダンス・アートイベントと、和紙の魅力発信の工夫も素晴らしい。和紙は高知県が誇る文化。今、紙は使い捨てのように扱われることが多くなっていますが、大事に使わねばと思います。今回の展示を見た人は、和紙を見て、地域のコミュニティや自然の大切さにも想いが及ぶことでしょう。

第54回 高知県文芸賞 概要

県民の皆さまの文化芸術活動を応援し、また、文化芸術を身近に感じていただくため、毎年秋に「高知県芸術祭」を開催しています。

芸術祭の行事のひとつとして、県民の皆さまの文芸創作活動を応援する「文芸賞」を設けています。多くのご応募をお待ちしています。

◆募集部門

短編小説（1人1編）／詩（1人1編）／短歌（1人3首以内）／俳句（1人5句以内）／川柳（1人5句以内）＊（ ）内は応募できる作品数

◆賞

「高知県文芸賞」（各部門1名）
「高知県文芸奨励賞」（短編小説部門2名、他部門各5名）
表彰状と副賞が授与されます。その他、佳作が選出される場合もあります。

◆問い合わせ・応募先

〒781-8123 高知市高須353-2
（公財）高知県文化財団内（平日9：00～17：00）
[TEL] 088-866-8013 [FAX] 088-866-8008
✉k_geijyutsu-sai@kochi-bunkazaidan.or.jp

◆表彰式 開催日：令和7年12月7日（日）

会 場：高知県立文学館ホール
※表彰式への出席は、文芸賞・文芸奨励賞受賞者

くわしくは、高知県芸術祭公式ホームページをご覧ください。

◆審査員

短編小説 片岡 真・米沢朝子・若江克己
詩 林 嗣夫・増田耕三・やまもとさいみ
短 歌 梶田順子・田上悦子・山脇志津
俳 句 伊野部哲也・植田紀子・田村乙女
川 柳 小笠原望・清水かおり・山岡陸宏
（敬称略・五十音順）

◆締切日

令和7年9月30日（火）消印有効



◆応募状況と入選者数

| | 応募総数 | 応募人数 | 文芸賞 | 文芸奨励賞 | 佳作 |
|------|----------|-------|-----|-------|----|
| 短編小説 | 42 編 | 42 人 | 1 | 2 | 1 |
| 詩 | 235 編 | 235 人 | 1 | 5 | 5 |
| 短 歌 | 485 首 | 202 人 | 1 | 5 | 6 |
| 俳 句 | 874 句 | 242 人 | 1 | 5 | 10 |
| 川 柳 | 585 句 | 148 人 | 1 | 5 | 10 |
| 計 | 2,221 作品 | 869 人 | 5 | 22 | 32 |

第54回 高知県文芸賞受賞者一覧

| 部 門 | 受賞名 | 氏名または ペンネーム | タイトル（ただし、短歌、俳句、川柳は作品） | |
|--------------------|-------|---------------------|------------------------------|------------------------------|
| 短編小説 | 文芸賞 | とぎ 研 ゆう 裕 た 太 | 美彌子の春 | |
| | 文芸奨励賞 | みや 宮 ぎき 崎 え 恵 み 美 | アイスクリンはいつだって尊い | |
| | | やま 山 もと 本 ゆう 勇 や 弥 | カタツムリとナメクジ | |
| | 佳作 | なか 中 やま 山 みち 道 お 雄 | 誘い灯 | |
| 詩 | 文芸賞 | ほ 甫 き 木 え 恵 み 美 | 骨 | |
| | 文芸奨励賞 | うち 内 やま 山 まち 真知子 こ | 子の宮は | |
| | | あお 青 の 野 き 紀代美 よ み | 父の涙 | |
| | | はま 濱 ぐち 口 はる 陽 ひと 仁 | 弓 | |
| | | やま 山 た 田 くま 草 はな 花 | 忠実 | |
| | | にし 西 はら 原 ととき 時 こ 子 | 八十年 | |
| | 佳作 | やま 山 きき 崎 し 詩 おり 織 | 川漁師 | |
| | | むら 村 にし 西 かず 和 き 貴 | カツオの詩 | |
| | | やま 山 した 下 りん 凜 | かけがえのない存在 | |
| | | つゆ 露 ぐち 口 なつ 奈津子 こ | いつか | |
| | | くり 栗 やま 山 あや 文 こ 子 | 幸せの種を蒔いた | |
| | 短 歌 | 文芸賞 | お 尾 きき 崎 きよし 清 | 廃校の正面時計はいつ見ても授業開始の八時半指す |
| | | 文芸奨励賞 | なか 中 ひら 平 ち 千 ゆ 友 | 本当は家族が好きな十四歳素直になるのはちょっと先かな |
| | | | とく 徳 なが 永 いつ 逸 お 夫 | 出征の祖父が植ゑたるスギ・ヒノキ蝉しぐれ成す森となりたり |
| たけ 武 やま 山 ななみ | | | 写真には収まり切らぬ光かな手持ち花火と夏の星空 | |
| まつ 松 おか 岡 けい 恵 こ 子 | | | 記念樹の剪定をする棟梁の鼻のピアスの光りて五月 | |
| お 小 の 野 くに 都 こ 子 | | | 涼風の市でみつけた芋のくき舌の記憶の母の煮びたし | |
| 佳作 | | ほそ 細 き 木 けい 圭 こ 子 | 新聞に小さき幸を拾ひ読む歪みたること多き世なれば | |
| | | ふく 福 い 井 う 羽 た 汰 | 口答えそれで勝ったと思うなよ黙る強さをまだ知らぬくせに | |
| | | はま 濱 ぐち 口 えい 榮 こ 子 | 夏終ふシャツに残夏の匂ひして抱き込むやうに取り込んでいく | |
| | | ふじ 藤 た 田 かん 莞 し 爾 | 幼き日叱ってくれた反抗期気づけなかった母の優しさ | |
| | | ふる 古 かわ 川 やす 安 こ 子 | 松葉杖にすがりバスへと歩みくる人を乗客静かに待ちぬ | |
| | | くほ 窪 た 田 しつ 詩都子 こ | 温暖化すむ地球の片隅にペットボトルのラベルを剥がす | |

| 部 門 | 受賞名 | 氏名または ペンネーム | タイトル (ただし、短歌、俳句、川柳は作品) | | |
|------------|-------------|----------------|------------------------|------------------|-----------------|
| 俳 句 | 文芸賞 | いけ 裕 美 | 風鈴やまだ目の薄き嬰とみて | | |
| | 文芸奨励賞 | おか ばやし ちせこ | 岡 林 知世子 | この米にどれ程の汗棚田這ふ | |
| | | さわ むら まさ ひこ | 澤 村 正彦 | 星月夜絵本のなかのひとり旅 | |
| | | おお の みつ ひこ | 大 野 充彦 | 駄菓子屋に午後より唸る扇風機 | |
| | | わ た かず こ | 和田 和子 | 一握り採れば一菜夏蕨 | |
| | | よし かわ ゆう は | 吉 川 優羽 | 早朝の百本シュート息白し | |
| | | お ぎき みつ ひろ | 尾 崎 光洋 | 大人から子供に戻る帰省かな | |
| | 佳作 | はま た ひろ こ | 浜 田 博子 | 外出を控へて貝になる暑さ | |
| | | かわ と う きょう | 川 戸 右京 | この里に生きて生かされ野紺菊 | |
| | | あん さい き わ | 安 西 佐和 | 雨音の激し林檎を煮る夕べ | |
| | | かた おか さち え | 片 岡 幸枝 | 水口を水路へ戻す豊の秋 | |
| | | まつ おか けい こ | 松 岡 恵子 | おのずから海となりゆく芒原 | |
| | | たに さん き | 谷 三喜 | エプロンの私が私いわし雲 | |
| | | たに おか えい た | 谷 岡 永太 | 今日もまた夕焼けに染まる参考書 | |
| | | や の に こ | 矢 野 虹恋 | 運動会走ると風がついてくる | |
| | | わ た こ と | 和田 綱都 | やっぱり王貫ろくがあるかぶと虫 | |
| | | 川 柳 | 文芸賞 | わた なべ ゆかり | 遠雷が一閃うしろの正面は |
| | 文芸奨励賞 | | たか はし あつ こ | 高 橋 敦子 | 石段のへこみ神輿が下りゆく |
| | | | の むら ひろし | 野 村 宏 | リベラルな猫が居たなら連れ帰る |
| ふ した さぶ ろう | | | 富士田 三郎 | 目から落ちた鱗が貼ってある日誌 | |
| おお の みつ ひこ | | | 大 野 充彦 | ズームされ嘘は悲しい陰を持つ | |
| こん どう ま な | | | 近 藤 真奈 | 人間を乾燥させる他人事 | |
| 佳作 | ますだ じゅんこ | | ますだ じゅんこ | つぎの世の空ともあかね色の空 | |
| | みょう じん えい こ | | 明 神 永子 | 門に顔認証のノウハウを | |
| | おお の さ なえ | | 大 野 早苗 | 哀しみを微分積分やがて雨 | |
| | くま がい とし ろう | | くま 熊谷 敏郎 | 幸せへ届く脚立を貸しましょか | |
| | にし ぎき なお | | 西 崎 直子 | 撃ち方やめタンポポを踏むべからず | |
| | おか ばやし ひろ こ | | 岡 林 裕子 | 生も死も絵文字となれず雲はゆく | |
| | もり した きく | | もり 森下 菊 | A Iの無限抱擁人の秋 | |
| | とく なが いつ お | | とく 徳永 逸夫 | 心中のような二人の大昼寝 | |
| | き むら ゆい と | | 木 村 結人 | 遠雷がぼくたちのことさがしてる | |
| | ふじ た か ほ | 藤 田 華帆 | まよってる青春するか勉強か | | |

プレイベント「高知小津高等学校書道パフォーマンス」

開催日 令和7年8月25日(月)

出演 高知小津高等学校書道部

会場 イオンモール高知1階南コート

大黒久美子(司会)

来場者 250人

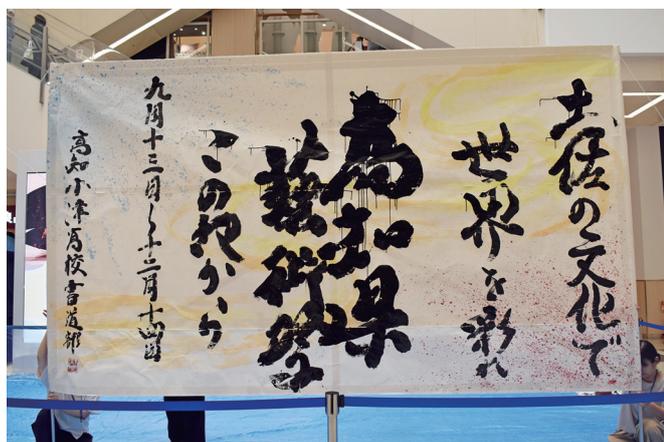


芸術祭のPRを目的とし、プレイベントとして高知小津高等学校書道部の生徒による書道パフォーマンスを開催しました。

1枚目は「土佐の文化で世界を彩れ」、2枚目は「涼風至來 夏よ叫べ その一瞬にすべてを懸ける」など、生徒たちが考えた言葉を並べた作品となりました。また、それぞれの書で背景の色を変えるなど、創意工夫が感じられました。

パフォーマンスの感想を聞かれると、副部長の福島さんは「一年生は初めてのパフォーマンスでしたが、皆、作品に気持ちが込められて、一つのいい作品に仕上がったと思います。」と答えてくれました。また、今後の活動について部長の岸田さんは「今後は文化祭に向けての練習や、個人ではコンクールや全国総文祭に向けての練習も頑張っていきたいと思います。」との意気込みを語ってくれました。

両作品は、(芸術祭開幕日の)9月13日から2か月間、帯屋町アーケードに掲げられました。



オープニングイベント「まちなかアート行進曲」

開催日 令和7年9月13日(土) **出演** 高知学芸中学高等学校吹奏楽部、丑之助学園鼓笛隊
会場 帯屋町筋商店街 新納朋代(司会)
(ひろめ市場前～東洋電化中央公園) **来場者** 600人

高知県芸術祭の開幕を告げるオープニングイベント「まちなかアート行進曲」として、帯屋町筋商店街のアーケード内において、マーチングパレードを行いました。

芸術祭執行委員長による開幕宣言を皮切りに、高知学芸中学高等学校Aチームの生徒による行進がスタートしました。楽器を演奏しながらの行進は、歩行中とは思えないほど音がそろった演奏と、力強さがありました。続いては丑之助学園鼓笛隊の皆さんが元気よく演奏し、観客から声援と拍手が送られていました。最後に高知学芸中学高等学校Bチームの生徒による行進です。Aチームとは異なる曲を演奏しながらの行進で、観客を楽しませてくれました。



メインイベント「国際音楽交歓コンサート2025高知公演」

開催日 令和7年10月8日(水)・9日(木)
会場 8日：高知県立県民文化ホール オレンジホール
9日：安芸市民会館大ホール
出演 スターシャ(声楽：ソプラノ)、スルタン・アブドゥラヒモフ(声楽：バス)、オレグ・ポリヤンスキー(ピアノ)、アレクサンドル・ゾロタレフ(ピアノ)、ヴァディム・チジク(ヴァイオリン)
来場者 高知市会場 1,224人
安芸市会場 404人

令和7年度のメインイベントの1つとして、「国際音楽交歓コンサート2025高知公演」を高知市と安芸市の2会場で開催しました。

このコンサートは公益社団法人国際音楽交流協会が主催で、「全国地方都市に於ける新しいクラシック音楽ファ

ンの発掘と育成」と「地方都市の公共ホール等の本格的活用と波及効果の創出」を目的とし、毎年9月～10月に全国10か所程度で開催されているものです。高知県では令和5年に本山町と高知市にて開催されており、2年ぶりの開催となりました。

8日は公演の前に高知県副知事への表敬訪問と県庁ロビーにてロビーコンサートを行いました。県庁職員や来庁者の皆様には、ヴァイオリン演奏の見事な指使いと、ソプラノの迫力ある歌声を至近距離でお楽しみいただくことができました。その後の副知事への表敬訪問では、スターシャさんが「高知に来るたびに違う魅力を発見している。またすぐに高知に来たい」と話し、高知公演への意気込みも語っていただきました。

高知市公演は高知県立県民文化ホールのオレンジホールにて開催しました。18時半開演のコンサートでしたが、多数の観覧申込をいただき、満席となりました。公演では「サンタ・ルチア」「愛の喜び」「ラ・カンパネラ」「トルコ行進曲」「フニクリ・フニクラ」など、数々の名曲を披露してくださいました。また特別出演として小唄田村流師範・田村花枝さんの三味線と、ヴァディム・チジクさんのヴァイオリンによる「南国土佐を後にして」の共演を行いました。和楽器の三味線とヴァイオリンという異色の組み合わせは、新たな表現の可能性を感じさせる試みとなりました。

全ての演奏が終わり、花束贈呈が行われた後、スターシャさんの「もう一曲？」という掛け声とともに会場から拍手が起きると、「浜千鳥」を観客と一緒に歌い上げました。観客と出演者が一体となったところで、濱長花神楽がステージに上がり、出演者と一緒によさこい鳴子踊りを踊りました。スターシャさんによる歌・田村花枝さんと生徒さんの三味線による演奏・濱長花神楽と出演者による鳴子踊りで、会場全体がよさこい祭りを彷彿とさせる賑わいとなりました。なお、出演者は、前日によさこい交流館でそれぞれが作成した鳴子を手に登壇しました。

最後に「川の流れるように」をスターシャさんが歌い上げ、会場は大きな拍手に包まれて無事終了となりました。

翌日9日は、安芸市の安芸市民会館大ホールにて公演を行いました。安芸市公演では、安芸市民合唱団の方々に特別出演をしていただき、こちらの公演も大盛況の内に終わることができました。

ご来場いただいた方からは、「知っている曲が多く聴いていて楽しめました」「一流の音楽を聴ける機会となって良かった」「質の良い音楽を無償で楽しめるのはとてもありがたい」「三味線とヴァイオリンのコラボがとても良かった」「アンコールのボリュームも多く、出演者がサービス精神旺盛でとても嬉しかった」と、大変喜んでいただけた公演となりました。



メインイベント「リズム・フェスタ！ in しまんと」

開催日 令和7年11月24日（月・振休）

会場 窪川四万十会館

出演 徳永茉己&TOMA FLAMENCO（フラメンコ）、AUN's SESSION（HumanBeatBox×Dance）、エルスール（フルート、ヴァイオリン、ピアノ、コントラバス）、angelicseed（ボーカル、ギター）、TAPA（タップダンス）、山地 高（サクソ）

来場者 210人

令和7年度のメインイベントの1つ「リズム・フェスタ！ in しまんと」を窪川四万十会館で開催しました。今回のイベントは音楽とダンスの融合をテーマに、色々なジャンルのリズムが集うイベントとなりました。

開幕は徳永茉己&TOMA FLAMENCOによるフラメンコです。生演奏・生歌の中踊られるフラメンコは、しなやかで美しい動きで観客を魅了していました。次にAUN's SESSIONによるヒューマンビートボックスとダンスのコラボを行いました。楽器を使わず、口だけでリズムやクラッチ音を演奏するヒューマンビートボックスと、体を大きく動かすストリートダンスが組み合わせたり、まさに体でリズムを感じる時間でした。次はエルスールによるクラッ



シックをベースとした演奏は、アップテンポなヒューマンビートボックスからうって変わって、ピアノやヴァイオリンの涼やかな音色の演奏が行われました。次にangelicseedのあたたかな音色のギターとボーカルによる、スローバラードやボサノバなどをお送りしました。続いて、TAPAによるタップダンスが披露されました。金属を付けた靴で床を打つ軽やかなリズムが会場に響き渡りました。また、エルスールの皆さんとコラボしてのタップダンスも披露していただきました。続いての出演は、山地高さん、エルスール（ピアノ・コントラバス）、ヒューマンビートボックスとのコラボレーション曲を行いました。山地さんのサクソを中心としたジャズが演奏され、しっとりとした音楽が会場全体に広がりました。

最後には出演者全員が登壇し、「ハピネス」で締めくくりました。今回の公演では、出演者同士のコラボ演奏も多数行われました。なかなか見ることができないコラボとなり、来場者には普段とは違った演奏を楽しんでいただけたのではないのでしょうか。



スペシャルイベント 「げいぶん寄席2 笑楽座 in 弁天座」

開催日 令和7年11月30日(日)

会場 弁天座

出演 浪漫亭タッチ、楓家葉っぱ、花伝亭はち、粋亭ほれ太、Tokyo Tomo、花の家こなつ、悠遊亭のん気

来場者 211人

昨年大変ご好評いただいた寄席を、スペシャルイベントとして本年も開催しました。

本年は「親子酒」「権助魚」「初天神」「松山鏡」「天狗裁き」の5題を行いました。また、Tokyo Tomoさんによる奇術も行われ、落語家とマジシャンによる笑いとおどろきの競演となりました。

一人で何役も演じ分ける落語は、声色や身振りで物語の情景を思い浮かべられ、まるで何人もの出演者がいるかのように感じられました。臨場感あふれる内容に、会場からは大きな笑いが起こっていました。

またマジックでは、観客もマジックの仕組みを考えたり、ステージに上がったりと、一緒に参加しての内容もあり盛沢山なイベントとなりました。

お答えいただいたアンケートには、「落語のおもしろさ、楽しい時間をいただきました。笑いの文化に感動し、元気をいただきました」「落語とマジックのコラボが変化があってよかったです」「来年もまた行ってほしいです」など、大変ご好評をいただいたイベントとなりました。



クロージングイベント「まちなかアートステージ」

開催日 令和7年12月14日（日）

会場 金高堂本店ウッドデッキ

出演 高知小学校、土佐女子中学高等学校コーラス部、ラーダ マーシー、高知学芸高等学校吹奏楽部
新納朋代（司会）

来場者 526人

高知県芸術祭の締めくくりとして、帯屋町筋商店街にある金高堂本店ウッドデッキにて音楽イベントを行い、クリスマスムードあふれる音楽を披露していただきました。

高知小学校合唱部の皆さんは、「少年少女冒険隊」「赤鼻のトナカイ」などを元気に歌い上げてくれました。また5年生・6年生によるハンドベルも披露していただき、開演からクリスマスムード満載となりました。

土佐女子中学高等学校コーラス部の皆さんは、「クリスマスメドレー」「おジャ魔女カーニバル」など、クリスマスソングから懐かしの曲まで、バラエティーに富んだ内容となり、曲によっては踊りを入れるなどしていました。ぴったりとそろったコーラスは、街ゆく人々を魅了していました。

ラーダ マーシーの皆さんは、今回の出演者の中で唯一の一般構成のグループです。「Christmas Medley」や「Oh happy day」などを大人の力強い歌声で歌い上げてくれました。手拍子などを入れることで観客も一緒になり一体感のある時間となりました。

最後は高知学芸高等学校吹奏楽部による「クリスマスイヴ」「見上げてごらん夜の星を」などの演奏でした。高知学芸高等学校吹奏楽部は今年度のオープニングイベントにおいてパレードにも出演し、芸術祭の開幕から閉幕



までを務めあげていただきました。また今回、チャイムという楽器も演奏に加わり、テレビで見たことはあっても実際の音を聞くのは初めてという方もいて大変ご好評をいただきました。

○共催行事

※ 記載内容は原則として事業実施報告書の記載に則しています。

※ 開催日（部門別）の順に掲載しています。 ※ 芸術祭開催期間中の参加者数を掲載しています。

| 部門名 | 行事名 | 主催団体 | 日程 |
|--------|---|---|----------------------------|
| 演劇 | ゼロコ高知公演『フラッグ』 ～土佐路でフラッグ～ | 高知県立県民文化ホール（高知県立県民文化ホール共同企業体）、イグジットオーガニゼーション | 9月26日（金） |
| 舞踊・ダンス | ダンスの審査員のダンス | 高知県立美術館 | 12月13日（土）～12月14日（日） |
| 美術 | 第29回高知県障害者美術展（スピリットアート） | 高知県、高知県障害者美術展実行委員会 | 10月3日（金）～10月12日（日） |
| | マルク・シャガール 挿画本の世界 | 高知県立美術館 | 10月21日（火）～ 令和8年1月18日（日） |
| | 石元泰博・コレクション展「万博」 | 高知県立美術館 | 11月1日（土）～ 令和8年1月18日（日） |
| 文芸 | 短詩型文学 その魅力 | 高知県立文学館 | 10月4日（土）～ 令和8年1月4日（日） |
| | 第28回児童生徒文学作品朗読コンクール | 高知県立文学館 | 11月2日（日） |
| | 全国高等学校ビブリオバトル2025高知県大会 | オーテピア高知図書館（高知県立図書館・高知市立市民図書館） | 11月9日（日） |
| 映画 | 高知県立美術館 秋の定期上映会 「異才たちの宴 -ポーと乱歩とピアズリー-」 | 高知県立美術館 | 11月15日（土）～11月16日（日） |
| | バリアフリー映画会『九十歳。何がめでたい』 | オーテピア高知図書館（高知県立図書館・高知市立市民図書館）、オーテピア高知声と点字の図書館 | 11月30日（日） |
| 伝統文化 | 第三回土佐の伝統芸能まつり | 高知県文化遺産総合活用推進委員会 | 11月2日（日） |

| 会 場 | 参加者数 (人) | 行事内容と成果等 |
|--|----------------------------------|---|
| 高知県立県民文化ホール グリーンホール | 107 | ゼロコ『フラッグ』を開催しました。一枚の旗と旅する姿を言葉を使わず表現し、笑いと静寂が交差する一体感を生みました。大道芸文化の発展と醸成を目指し、表情と動きだけで物語を紡ぐ身体表現の魅力を共有した瑞々しい公演となりました。 |
| 高知県立美術館ホール | 200 | 公演を通じ、ダンスと演劇を融合させた新しい舞台表現の在り方を提示しました。観客と共に現代の社会にある哲学的な問いかけについて考える時間となりました。また、初日終演後にはポストパフォーマンストークを開催しました。 |
| 高知県立美術館 1 階D展示室 | 4, 144 | 937点の応募作品のなかから、242点を展示しました。独創的で感性溢れる作品の数々は、訪れた多くの人に感動を与え、障害のある方への理解につながっていることが感じられます。 |
| 高知県立美術館 | 4, 141 | シャガールの代表的な版画作品であるのみならず、版画というジャンルを代表するといっても過言ではない「ダフニスとクロエ」や「オデュッセイア」などの版画集の傑作を集中的に展示し、質量ともにご満足いただけました。 |
| 高知県立美術館 2 階 石元泰博展示室 | 2, 953 | 高知ゆかりの写真家・石元泰博の多彩な作品群のうち、万国博覧会にまつわる仕事にフォーカスし、プリントや資料の展示をとおして、科学技術の発展や都市文明のあり方へ向けられた石元の批評眼を紹介しました。 |
| 高知県立文学館 | 1, 473 | 土佐高知の俳句・短歌の資料を展示しました。高校文芸部等、障がい者福祉支援施設とのコラボ、俳句・短歌結社の紹介など、県内の活動も紹介しました。各種イベントも高評価でした。幅広い世代が来館し、文学と地元と人を結び付けました。 |
| 高知県立文学館ホール | 県審査出場者 21 一般（観客） 延べ 102 | 地区審査を経て選出された21名の児童生徒が出演し、素晴らしい朗読を届けてくれました。特別審査委員の宮西達也氏による講演会は自作の朗読や会場の皆さんとのやり取りの中で、多くの気づきや感動がある講演となりました。 |
| オーテピア 4 階 ホール・ 研修室 | 50 | 発表者12名が2グループに分かれて予選を行い、各グループ2名が本選に出場しました。4名で本選を行い、投票によってチャンプ本賞を決定しました。チャンプ本賞を受賞した生徒は、2026年2月に東京都で開催される決勝大会に出場します。 |
| 高知県立美術館ホール | 495 | 高知県立美術館の企画展「異端の奇才 ビアズリー展」に関連し、エドガー・アラン・ポーと江戸川乱歩が原作を手掛けた映画を4本上映しました。展覧会とあわせて鑑賞された方も多く、好連携となりました。 |
| オーテピア 4 階 ホール | 120 | 障害がある方もない方も一緒に楽しむことができました。会場でバリアフリーや映画に関する資料の展示を行い、バリアフリーへの理解を深めるとともに、図書館の活用や資料を周知できました。会場は満席で、大盛況でした。 |
| 高知市丸ノ内緑地（メイン会場）、高知城歴史博物館（北ステージ）、帯屋町アーケード | 4, 376 | 当日は、15団体が参加し、地域に伝わる貴重な民俗芸能を披露しました。4, 376人（前年+881人）が訪れ、高知の伝統芸能の素晴らしさ、伝承していくことの大切さを知っていただけたものと推察します。 |

| 部門名 | 行事名 | 主催団体 | 日程 |
|-----------------|-------------------------------------|--------------------------|--|
| 総合文化 | やなせたかし・暢夫妻のふるさと高知 連続テレビ小説「あんぱん」展 | どっぶり高知旅キャンペーン 推進委員会 | ①9月6日(土)～9月28日(日) ②10月4日(土)～10月26日(日) |
| | 連続講演会 第一回「京都における半平太の 人脈と政治活動」 | 高知県立坂本龍馬記念館 | 9月13日(土) |
| | 野中兼山ー時代を見据え、変革に挑むー | 高知県立高知城歴史博物館 | 9月13日(土)～12月7日(日) |
| | 坂本龍馬生誕190年記念事業・収蔵品展 「龍馬の評伝」 | 高知県立坂本龍馬記念館 | 9月20日(土)～ 11月24日(月・振休) |
| | 「コールド・ブラッド」日本初演・高知のみ | 高知県立美術館 | ①公演： 10月4日(土)～10月5日(日) ②連携企画： 10月3日(金)～10月9日(木) |
| | 武市半平太の書画 | 高知県立歴史民俗資料館 | 10月10日(金)～ 令和8年1月12日(月・祝) |
| | 企画展Ⅱ ー土佐のまほろば新発見ー若宮ノ東遺跡 | 高知県立埋蔵文化財センター | 10月12日(日)～ 令和8年3月31日(火) |
| | 第13回旧大柝高校民俗資料一般公開 | 高知県立歴史民俗資料館 | 10月25日(土)～10月26日(日) |
| | 古代ものづくり体験教室(ガラス勾玉、編布) | 高知県立埋蔵文化財センター | 10月26日(日) ガラス勾玉づくり 11月9日(日) 編布づくり |
| | 龍馬月間・龍馬まつり in 記念館 | 高知県立坂本龍馬記念館 | 11月1日(土)～11月30日(日) |
| | 第48回高知県高等学校総合文化祭 | 高知県教育委員会、 高知県高等学校文化連盟 | 11月11日(火)～11月16日(日) |
| ウォーキングイベント・史跡巡り | 高知県立坂本龍馬記念館 | 12月7日(日) | |

| 会 場 | 参加者数 (人) | 行事内容と成果等 |
|---|--------------------|---|
| ①佐川会場 (まきのさんの道の駅・佐川) ②室戸会場 (室戸世界ジオパークセンター) | ①8,258 ②2,162 | 連続テレビ小説「あっぱん」の衣装や小道具、出演者のインタビューパネル等の展示に加えて、モデルとなった「やなせたかし・暢夫妻」の功績やエピソード、ゆかりの地等を紹介する巡回展を開催しました。来場者に喜んでいただけました。 |
| 高知県立坂本龍馬記念館 | 43 | 令和7年度連続講演会「幕末再入門」の第一回は「京都における半平太の人脈と政治活動」をテーマにした講演を行いました。企画展「半平太と京都」の担当学芸員による講演を行い、参加者からは好評をいただきました。 |
| 高知県立高知城歴史博物館 | 20,965 | 土佐藩主山内家の執政家老で、新田開発や港湾整備・殖産興業など土佐の地域開発・国力増強を推し進めた野中兼山の事績について、県内外の多くの方に紹介することができました。 |
| 高知県立坂本龍馬記念館 | 28,147 | 坂本龍馬の生誕190年を記念して収蔵品展「龍馬の評伝」を開催しました。陸奥宗光や西郷隆盛、勝海舟など24名の龍馬評と関連資料を紹介し、県内外から多くの方に来館いただきました。 |
| ①高知県立美術館ホール ②キネマM | ①391 ②120 | 2017年招聘の『KISS&CRY』公演に次ぐ、ベルギー発の舞台芸術と映画のハイブリッド作品の待望の来日公演を実現しました。ミニチュアセットの世界で、主演の手指が踊り闊歩する「上演」を映画として「撮影」し、同時に巨大スクリーンに「上映」する唯一無二の演出で観客を魅了しました。〈キネマM〉との連携上映会も好評をいただきました。 |
| 高知県立歴史民俗資料館1階 企画展示室 | 4,330 | 令和7年で没後160年の節目を迎える武市半平太とその妻・冨の事績を、古文書のみではなく、書や画、ゆかりの品々などを利用し再顕彰しました。新しい切り口であったようで書画を嗜む人であったのかと率直な感想もあり、半平太の人物評に変化をあたえられ、一定の成果を得ました。 |
| 高知県立埋蔵文化財センター (講演会：南国市地域交流センター MIARE!) | 展示 1,178 講演会 67 | 弥生～古墳時代初頭の大規模集落や刻書土器など、高知の歴史を語るうえで重要な新発見の公開と、講演会等の関連行事の開催により来場者の郷土史への関心と理解を深める重要な機会となりました。 |
| 旧大柘高校体育館・格技場・ 食堂 | 153 | 民俗資料の公開とともに、地元物部の関係団体の協力で、地域文化を発信する展示やトーク、公演、町歩きなどを実施しました。今回はさらに図書館、高知工科大学、書店などが参加し、幅広い企画を展開することができました。 |
| 高知県立埋蔵文化財センター | ガラス勾玉：53 編布：23 | 参加者は古代の人々のものづくりの知恵や技術に感心するとともに、自分の手で作ることの難しさや作り上げる満足感を感じていました。家族での参加が見られ、もう一度挑戦してみたいという感想も多く得られました。 |
| 高知県立坂本龍馬記念館 | 13,712 | 11月は「龍馬月間」として、謎解きクイズや学芸員による展示紹介などを行いました。15日・16日は「龍馬まつりin記念館」を開催し、龍馬カルタ大会やワークショップ、学芸員レクチャーなどを行いました。 |
| 高知市文化プラザかるぽーと 他 | 2,200 | 11日の開会式をはじめ、会期中に多くの方にご来場いただき、高校生の日頃の成果を発表することができました。また、多くの部門で来年度の全国高等学校総合文化祭の出場者や出場校を決定しました。 |
| 高知県立坂本龍馬記念館 | 15 | 坂本龍馬生誕190年企画の一つとして、学芸員とともに龍馬ゆかりの地をめぐるウォーキングイベントを開催しました。龍馬が生まれ育った街の散策や、実際に足を運んだであろう坂本家墓所、柴巻・田中良助邸などを巡りました。 |

○協賛行事

※ 記載内容は原則として事業実施報告書の記載に則しています。

※ 開催日（部門別）の順に掲載しています。 ※芸術祭開催期間中の参加者数を掲載しています。

| 部門名 | 行事名 | 主催団体 | 日程 |
|--------|---------------------------------------|-----------------------------|----------------------------------|
| 舞踊・ダンス | 「第一回翔乃亮之会」舞踊公演 | 翔乃亮之会実行委員会 | 11月21日（金） |
| | オトナ、ハジけるーダンスの森2ndー | ダンスの森実行委員会 | 11月22日（土） |
| | Modern Ballet Studio SPROUT発表会 | Modern Ballet Studio SPROUT | 11月23日（日・祝） |
| 音楽 | 午後の音楽会レクチャー・コンサート | 高知音楽協会 | 9月21日（日） |
| | Team幽弦チェロアンサンブルコンサート | Team幽弦 | 9月23日（火・祝） |
| | Kamobe Winds feat. SOLOISTS | かもベウインズ | 9月27日（土） |
| | トイピアノコンサートinものべ<弁天座> | トイピアノコンサート実行委員会 | 9月28日（日） |
| | いつもの日曜日Jazz Night | 高知ラテン Jazzファクトリー | 9月28日（日）・10月26日（日）・ 11月30日（日） |
| | 第11回 ヤマハジュニアピアノコンクール ～高知県西部地区予選大会～ | ジュニアピアノコンクール 実行委員会 | 10月12日（日） |
| | 高知フライデー・ウインド・アンサンブル 第42回定期演奏会 | 高知フライデー・ウインド・ アンサンブル | 10月12日（日） |

| 会 場 | 参加者数 (人) | 行事内容と成果等 |
|--------------------------------|----------|--|
| 四万十市総合文化センター しまんとぴあ しまんとホール | 1,041 | 学校公演：「歌舞伎を楽しもう！」・舞踊：長唄「藤娘」 一般公演：舞踊：清元「流星」・ゲストコーナー：土佐一條太鼓・舞踊：長唄「藤娘」を行い、伝統芸能を身近に感じてもらう機会となりました。 |
| 高知市文化プラザかるぽーと 龍馬学園イベントホール | 180 | 色んなジャンルのダンサーが集まって交流でき応援し合うのも良かったです。最高齢は75歳！！お客様も一曲一曲に手拍子や声援が飛び、表情からも楽しんでいるのが伝わってきました。嬉しい感想もたくさん頂きました。 |
| 高知市文化プラザかるぽーと 四国銀行ホール | 500 | 定刻通り開催し、滞りなく終了しました。多くのお客様に楽しんでいただくことができました。 |
| 高知県立美術館ホール | 162 | ピアノ・声楽・女声合唱の演奏と曲の解説を交えた音楽会でした。今回は前回よりも参加者が多く会場の皆様と一緒にになり温かい雰囲気の中に終わりました。 練習よりも本番の経験が今後に生かされる事を願い出演者全員頑張りたいと思います。 |
| 高知県立美術館ホール | 396 | 2年連続での完売となりました。 ワークショップの大編成チェロアンサンブルも過去最大の人数となり、来年はいよいよ大ホールへ舞台を移しての挑戦となります。 |
| 高知市文化プラザかるぽーと 四国銀行ホール | 560 | 「レッドラインタンゴ」や「はかなき人生」といった大曲2曲と、高知西高等学校卒業生で、国内外で活躍中のプロ奏者を迎えてのソロフィーチャーステージで多くのお客様に演奏を楽しんでいただくことができました。 |
| 弁天座 | 74 | 第1部はトイピアノ4台を並べ演奏。「秋の歌メドレー」「八百屋お七」「たしかなこと」(オリジナル)など。 第2部は、ソプラノとのコラボ。「アメイジンググレイス」「あんたがたどこさ」-紙風船あそび-など観客も一緒に楽しめるプログラム。天井の高い和建築と洋芸術のマリアージュは最高でした。 |
| ピアノ・バー “Just Friends” | 23 | 無事3回終了しました。マンスリーライブなので、広く告知はしていないけれど、長く続いています。お店とメンバーの協力のおかげです。今回初めての参加ですが、少しは高知県の音楽、ジャズ文化に貢献できたかと思います。 |
| 四万十市総合文化センター しまんとぴあ りぐるホール | 30～40 | 日頃の練習の成果を、コンサートピアノで披露できました。 審査のための録画を行い、審査員の方に送付し審査していただき、4名の方を二次大会へ推薦させていただきました。 |
| 高知県立県民文化ホール オレンジホール | 1,028 | 1部：カルメン組曲他 2部：吹奏楽とナレーションによる音楽物語 秋田犬「ハチ」～語り継がれる友情物語～ 3部：私のお気に入り、グレイテスト・ショーマン・セレクション他 おかげさまで成功裏に終えることができました。 |

| 部門名 | 行事名 | 主催団体 | 日程 |
|-----|---|---|----------------------------|
| 音楽 | 高知コンサート・グループ 第72回 定期演奏会 | 高知コンサート・グループ | 10月25日 (土) |
| | 下八川圭祐記念 第49回 高知音楽コンクール | 公益財団法人高知新聞厚生 文化事業団、高知新聞社、 RKC高知放送 | 11月3日 (月・祝) |
| | かるぽーと北広場大階段合唱コンサート | 高知市文化プラザ共同企業体 | 11月8日 (土) |
| | 第33回 高知県民謡まつり | 高知県民謡協会 | 11月9日 (日) |
| | 佐渡裕 指揮 シエナ・ウィンド・オーケストラ演奏会 《ブラスの祭典 2025》 | 公益財団法人 高知市文化振興事業団 | 11月12日 (水) |
| | ドミトロ・ウドヴィチェンコ ヴァイオリン リサイタル | 公益財団法人四万十公社、 KUTVテレビ高知 | 11月22日 (土) |
| | 都山流高知県支部 令和7年度尺八定期演奏会 | 都山流高知県支部 | 11月23日 (日・祝) |
| | 高知コーラス合笑団 第64回 定期公演 | 高知コーラス合笑団 | 11月23日 (日・祝) |
| | 高知交響楽団第175回定期演奏会 | 高知交響楽団 | 11月30日 (日) |
| 美術 | 安芸市立歴史民俗資料館開館40周年記念 特別展Ⅱ「生誕100年 吉田左源二」 | 安芸市立歴史民俗資料館 | 7月19日 (土) ~ 11月16日 (日) |
| | 底無し沼の創作力!!!小原征一のてしごと展 | 藁工ミュージアム・ NPO蛸蔵 | 7月26日 (土) ~ 11月3日 (月・祝) |

| 会 場 | 参加者数 (人) | 行事内容と成果等 |
|------------------------------|----------|--|
| 高知県立美術館ホール | 212 | 一つ一つのステージが趣向を凝らしたステージとなっており、温かくお客様が見守ってくれる中とても楽しい演奏会となりました。お客様と出演者、一体感となったのでは、という感覚でした。 |
| 高知県立県民文化ホール グリーンホール | 136 | 11月3日に下八川圭祐記念第49回高知音楽コンクールを開催しました。管楽器・弦楽器・声楽・ピアノの4部門に高校生12名と一般19名の合計21名が出演。下八川賞1位にクラリネットの山本花乃さん(中村高校3年)が輝きました。 |
| 高知市文化プラザかるぽーと 北広場 | 200 | かるぽーとをライトアップした中で行われる、北広場大階段を利用した合唱コンサートを開催し、幅広い年代の出演者によるコンサートを通して、来場者や通行人に合唱と照明演出の魅力をアピールしました。 |
| 高知市春野文化ホール ピアステージ | 100 | 民謡協会加入の6団体が参加し、三味線・尺八・太鼓に合わせて唄うオープニングに始まり、全国の民謡を中心にそれぞれの団体の特徴を活かした、三味線・尺八・太鼓の演奏やその伴奏で唄や踊りを披露しました。 |
| 高知市文化プラザかるぽーと 四国銀行ホール | 887 | クラシックの名曲2曲と佐渡氏のトークを交えポップスや演歌等も演奏しました。最後は来場者が持参した楽器とともに舞台上がり佐渡氏とシエナと共演し大いに盛り上がりました。音楽の素晴らしさを改めて感じる演奏会となりました。 |
| 窪川四万十会館ホール | 120 | 数々の国際音楽コンクールで優勝、上位入賞を果たす世界的ヴァイオリニスト「ドミトロ・ウドヴィチェンコ」によるヴァイオリンリサイタルを開催しました。 四万十町で世界レベルの演奏を体感できる機会を提供できました。 |
| 高知市文化プラザかるぽーと 龍馬学園イベントホール | 100 | 「三曲演奏」を県民の皆様にご紹介することを目的に開催しました。演奏曲は尺八曲が4曲、絃方との合奏曲が6曲、絃方と電子ピアノとの合奏曲が1曲、合わせて11曲を演奏しました。 |
| 高知県立県民文化ホール オレンジホール | 618 | 今年の定期公演は、戦後80年の節目の年と思い、気持ちも新たに「伝えたい、残したい」をテーマに愛する歌、越境するアンセム、富山に伝わる三つの民謡の三部構成で行い盛況の内に終了しました。 |
| 高知県立県民文化ホール オレンジホール | 642 | 「邦人作品は初めて聴いたがとても良かった」「悲愴はとても感動した」など曲に対する好意的な感想とともに「生オーケストラを聴けるのが嬉しい」「地元で根ざした活動を末永く続けてほしい」といった高響に期待する声も多くいただきました。 |
| 安芸市立歴史民俗資料館 | 1,083 | 開館40周年記念特別展の1つとして開催しました。安芸市出身の工芸作家・吉田左源二氏の生誕100年を記念し、絵画・漆工芸・アラビア書道など、氏が遺した多彩な作品を紹介しました。期間中は展示に合わせ様々な行事も開催しました。 |
| 藁工ミュージアム | 284 | 高知県内でダンボール等でできた立体や陶芸、絵画作品を作り続けた故・小原征一の作品約1500点を紹介する展覧会を開催しました。圧倒的な量とユーモラスな作品を来場者に楽しんでいただきました。 |

| 部門名 | 行事名 | 主催団体 | 日程 |
|-----|-------------------------------|--------------------------|---|
| 美術 | 細川孝子 第2回作品展 －和紙花・布花・絵花展－ | いの町紙の博物館 | 8月28日(木)～ 9月15日(月・祝) |
| | 高橋雨香展 | いの町紙の博物館 | 8月30日(土)～ 9月15日(月・祝) |
| | 第33回のいち動物公園写生コンテスト | 公益財団法人 高知県のいち動物公園協会 | 作品募集期間：9月1日(月)～ 10月31日(金) 入選作品展示：12月14日(日)～ 令和8年1月25日(日) |
| | 第114回企画展「わくわく生きる人生100年」 | 香美市立美術館 | 9月6日(土)～ 10月13日(月・祝) |
| | 吉井源太のわくわくパーク | いの町紙の博物館 | 9月23日(火・祝)～ 10月19日(日) |
| | 第34回のいち動物公園写真コンテスト | 公益財団法人 高知県のいち動物公園協会 | 作品募集期間：10月1日(水)～ 12月21日(日) 入選作品展示：令和8年 3月15日(日)～5月6日(水・振休) |
| | 2025年 國見光泉+四万十彩々会作品展 | おまちアートプロジェクト | 10月3日(金)～10月7日(火) |
| | 第16回四国三郎吉野川源流・利水域交流 美術展覧会 | 四国三郎吉野川源流・利水域 交流美術展覧会 | 10月3日(金)～11月25日(火) |
| | 没後20年記念 名誉町民 伊藤神谷「書の世界」 展8 | いの町紙の博物館 | 10月8日(水)～11月3日(月・祝) |
| | 第21回高知連合選抜書展 | 安芸市・ 安芸市書道振興協議会 | 10月26日(日)～11月30日(日) |
| | 紙仲間のいちページ2025 | いの町紙の博物館 | 10月29日(水)～11月16日(日) |

| 会 場 | 参加者数 (人) | 行事内容と成果等 |
|--|---------------------------------|---|
| いの町紙の博物館 | 268 | 和紙花作家・細川孝子氏の個展を開催しました。和紙・布・絵というさまざまな素材で花を制作し、緻密な作品が好評を博しました。素材の比較によりそれぞれの魅力を伝えることもできました。 |
| いの町紙の博物館 | 268 | 書家・高橋雨香氏の個展を開催しました。中国の漢文の長詩（千字文）の全臨をはじめ、立体的な文字の作品など、様々な書の作品を展示することで文字の新しい魅力を伝えることができました。 |
| 高知県立のいち動物公園 | 応募者数： 865 作品展来場者 数：275 | 県内外の小学生から個性溢れる作品をご応募いただきました。作品展では、審査で選ばれた274点（入賞22点・入選103点・佳作149点）を展示し、多くのお客様にご覧いただきました。 |
| 香美市立美術館 | 725 | 今回の展示は、それぞれが独自の信念と技法を身につけられ、作品制作を生きがいとして充実した日々を過ごしている、まさに人生100年時代を生きる手本のような方々の興味深い作品の数々を紹介しました。「地域で活躍するアーティストを発掘し地域に発信する、これぞ美術館の役割。」などの意見があり、文化芸術の振興に寄与できました。 |
| いの町紙の博物館 | 2,347 | いの町出身の製紙家・吉井源太生誕200周年を記念し、和紙に触れて楽しみながら業績を学べる「和紙のテーマパーク」を開催しました。親子で参加できる体験型企画として好評を博しました。 |
| 高知県立のいち動物公園 | 応募者数： 103 | 今回から開催時期を変更しましたが、100名を超える皆さまから多彩な作品をご応募いただきました。作品展では、応募作品の中から審査で選ばれた入選作品58点を展示しますので、ぜひご覧ください。 |
| 四万十市総合文化センター しまんとぴあ アートスペース | 450 | 10月3日の初日から来場者が絶えることなく、17時以降（関係者不在の展示時間）に来られた方もいらっしゃると思いますので、たくさんの方に作品を見ていただけて良かったです。 |
| ①大豊町総合ふれあいセンター ②大川村山村開発センター ③本山町プラチナセンター ④土佐町保健福祉センター | 348 | 今年も、吉野川下流域である香川県からの作品も多数出品いただき、文化活動を通じた上・下流域交流としての美術展が開催されました。また、高知県嶺北地域の4町村を巡回展示し、創作した優れた美術作品を一堂に公開することで、関係住民の美への関心を高めることができました。 |
| いの町紙の博物館 | 2,228 | 没後20年を迎えた、いの町名誉町民・伊藤神谷氏の作品を展示し、同氏の業績とともに作品解説などを通じてその魅力を伝えました。書道とその支持体である和紙の奥深さを広く発信する機会となりました。 |
| 安芸市立書道美術館 | 569 | 高知県内14書道団体を代表する書家192人の個性あふれる多彩な作品が展示され好評でした。また、他団体のさまざまな作品を鑑賞することで、勉強の場としての評価も得ました。 |
| いの町紙の博物館 | 1,573 | 紙を巻いて制作するペーパーワイリング作品を多数展示しました。和紙とのコラボ作品も制作し、新たな可能性を示せました。期間中にはワークショップも開催し、愛好者の輪がさらに広がりました。 |

| 部門名 | 行事名 | 主催団体 | 日程 |
|-----|---|------------------------------|--|
| 美術 | 新美術館開館記念特別展 「奥谷博展 ー藝術無終ー」 | なかとさ美術館、中土佐町 教育委員会、中土佐町 | 10月30日(木)～12月7日(日) |
| | 第66回室戸市美術展覧会 | 室戸市教育委員会事務局 | 11月1日(土)～11月9日(日) |
| | なはり古民家・廃校Art & Live2025 | なはり浦の会 | 11月1日(土)～11月15日(土) |
| | 第115回企画展 「具象から抽象へ・前衛の興亡」 | 香美市立美術館 | 11月1日(土)～12月21日(日) |
| | 第5回藁工アンパン アートバザール | 藁工ミュージアム・ NPO蛸蔵 | 11月14日(金)～12月7日(日) |
| | とさの森美術館企画展 斎藤英男展 「希望をもとめて」 | 土佐町 | 11月15日(土)～ 11月24日(月・振休) |
| | 夜の紙博ー光る森と冬馬の訪れー | いの町紙の博物館 | 11月22日(土)～11月24日(月・振休)・ 11月29日(土)～11月30日(日) |
| 文芸 | 企画展「大原富枝と柳瀬夫妻」 ①『小さなジョーの物語』執筆のころ ～敗戦の日本を生きる女たち～ ②『小さなジョーの物語』刊行のころ ～茶道と出会って～ | 本山町立大原富枝文学館、 本山町教育委員会、本山町 | ①8月3日(日)～10月13日(月・祝) ②10月21日(火)～12月27日(土) |
| | しきなみ短歌の世界 初めての短歌教室 | 一般社団法人倫理研究所 家庭倫理の会・高知 | 11月3日(月・祝) |
| 映画 | シネマな夜VOL.304「蝶の渡り」 | シネマ・サンライズ | 9月24日(水) |
| | とさぴくシアター Vol.45 「終わりの鳥」 | シネマ四国 | 9月26日(金)～9月30日(火) |

| 会 場 | 参加者数 (人) | 行事内容と成果等 |
|--------------------------------|----------|--|
| なかとさ美術館 | 2,305 | 宿毛市出身の洋画家・奥谷博氏の展覧会を開催しました。移転後最初の特別展ということもあり多くのお客様にご来館いただき、初日に行った奥谷氏ご本人によるギャラリートークも盛況でした。 |
| 室戸勤労者体育センター | 1,509 | 令和5年度より、一般の部と小中学校の部を同時開催しています。今年は「一般の部」は合計112点、「小中学校の部」は1,585点の出品がありました。「子供の作品にパワーをもらいました」などの評価をいただきました。 |
| 藤村製絲・高田屋・なはりの郷・林家の蔵・加領郷小学校・濱田家 | 2,500 | 登録有形文化財である古民家や廃校を会場に、アートイベント、子ども絵画展、アンサリー Live、椎名誠写真展&トークショー、ワークショップ等を開催しました。県内外から多くの来場者があり、歴史とArtと楽しんでいただけました。 |
| 香美市立美術館 | 607 | 「郷土出身作家の作品を観るのがとても楽しい。亡くなられた先生方に、“ここに来れば会える”喜びがあります。」「『赤と青』などテーマが面白い企画も楽しく、色々な視点で楽しめる企画展を希望します。」などの意見を得られました。 |
| 藁工ミュージアム | 472 | 「アートだ!」と思う作品なら誰でも作品を販売でき、気軽に作品を購入することができるアートバザール。音楽・ダンス・朗読などジャンルを問わずに参加できるパフォーマンスライブは昨年より参加者が増えました。 |
| とさの森美術館 | 269 | 戦争と平和、環境問題等社会問題を中心に立体作品を展示しました。会期前に土佐町中学校の生徒を対象に創作教室を行いフォトコラージュ作品を作成、会期中に展示を行いました。来場者からは『その大きさに驚かされた』、『作者の想いが伝わってきた』、『中学生の想像力に感動した』といった声が聞かれました。 |
| いの町紙の博物館 | 3,970 | 和紙と光をコラボレーションさせたイベントを夜間開館で開催しました。作品展示の他、ワークショップ、カフェ、釣りくじなど、様々な形で「和紙と光」に親しんでもらうことができ、過去最多の来館者数を記録しました。 |
| 本山町立大原富枝文学館 | 938 | やなせたかしさんの装幀による単行本『小さなジョーの物語』を軸に、執筆当時と刊行時の柳瀬夫妻と大原富枝の交流を紹介し、「茶の覚書」などの新資料を公開することができました。 |
| 高知市立自由民権記念館 研修室 | 8 | 人数を目的とせず、初めての方にお声がけをして、スタッフ9名、講師1名、初めての方8名の参加で開催しました。それぞれ作り立ての短歌を、みんなで一緒に朗詠し感動を分かち合い盛会の中終了しました。当日1名の入会がありました。 |
| 高知県立美術館ホール | 95 | ソ連からの独立、その後の長い内戦など、ジョージアの複雑な歴史を体験してきた学生たちが、今は中年の画家や音楽家となって古家の半地下に集い、自由奔放な暮らしを謳歌している。過ぎ去った時代への追慕と哀惜が滲む。 |
| とさぴくシアター | 65 | 娯楽だけでなく、芸術性や社会性もこめた製作を行うA24作品を選びました。感想を紹介します。「大切な人の死と折り合いをつけるのはとても難しいと思います。けれどこの映画はそのためのヒントが少しばかりありました。」 |

| 部門名 | 行事名 | 主催団体 | 日程 |
|------|--|---|--------------------------|
| 映画 | とさびくシアター Vol.46 「リー・ミラー 彼女の瞳が映す世界」 | シネマ四国 | 10月17日(金)～10月21日(火) |
| 漫画 | これが漫画!展 日本の漫画を創った時代 ～楽天・隆一・良輔～ | 高知市、 横山隆一記念まんが館、 近現代漫画家記念館共同巡回 展実行委員会 | 9月13日(土)～11月4日(火) |
| | まんさいーこうちまんがフェスティバル2025 | こうちまんがフェスティバル 実行委員会、高知市、公益財団 法人高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館 | 11月1日(土)～11月2日(日) |
| 伝統文化 | 諸流秋のいけばな展 | 中村華道協和会 | 11月2日(日)～11月3日(月・祝) |
| | 秋季いけばな県展 | 高知県華道協和会 | 11月8日(土)～11月9日(日) |
| | 第18回さかわ・酒蔵ロード劇場2025 | 第18回さかわ・酒蔵ロード 劇場2025実行委員会 | 11月15日(土) |
| | 鵬翔流吟友会創立15周年記念大会 ～梶田鵬翔吟道40年の感謝をこめて～ | 鵬翔流吟友会 | 11月16日(日) |
| | 正曲一絃琴白鷺会 定期演奏会 | 正曲一絃琴白鷺会 | 11月22日(土) |
| | しまんと落語会 | 公益財団法人四万十公社 | 11月29日(土) |
| 総合文化 | かみめぐり 香美を回る体験博 | 香美市(運営事務局:特定非 営利活動法人いなかみ) | 9月20日(土)～12月7日(日) |
| | 土佐の豊穰祭2025 | 土佐の豊穰祭推進会議 | 9月23日(火・祝)～ 12月13日(土) |

| 会 場 | 参加者数 (人) | 行事内容と成果等 |
|--|---|--|
| とさびくシアター | 75 | 芸術祭に合わせて、写真家の半生を描いた劇映画を選びました。トップモデルから報道写真家に転身し、第二次世界大戦の最前線で目にしたものを写真に残したリー・ミラー。この映画で初めて彼女のことを知ったというお客さまもいました。彼女の壮絶な人生に圧倒され、戦争の残酷さを伝えていかなければならないと思いました。 |
| 横山隆一記念まんが館 企画展示室 | 576 (ミュージアムトーク 9/20: 6名 ワークショップ: 11名) | 自館コレクションの活用を目的に、実行委員会を立ち上げ、巡回形式で行う企画展。明治・大正・昭和時代を生きた漫画家に光を当て、彼らの生きた時代から現代に至るまでの漫画界の道のりを振り返りました。 |
| 高知市文化プラザかるぽーと 他 | 2,657 | 声優トークショー、まんが家ライブドローイング、まんが教室やコスプレなど楽しい企画がまんさいのまんがをテーマにしたお祭りです。声優トークショーのチケットは完売するなど、コロナ禍以前の賑わいが戻ってきました。 |
| 四万十市総合文化センター しまんとぴあ アートスペース | 500 | 天候にもめぐまれ、来場者数も多く、盛大な開催となりました。秋の草花を用いた各流派の作品に「花々が輝いている。いやしや、優しさをもたらえる」との声も聞かれました。 |
| 高知市文化プラザかるぽーと 7F BILBOギャラリー 第1・第2展示室 | 1,459 | 16流の華道家達による作品102点と子供作品（幼児から中学生まで）15点を展示しました。 9日（日）午前中雨がひどかったので心配しましたが、午後天気が回復し、前日より多くの方々に秋の風情を楽しんで頂くことができました。 |
| 佐川町上町地区 酒蔵の道周辺 | 3,577 | 既存作家に加え、イラストレーター・絵本作家の三本桂子さんや土佐和紙の普及団体Washi+、キャンドルアーティストの塩坂佐和さんなど新しい作家にも加わっていただきました。事故等もなく無事に終了しました。アンケートでの満足度は非常に高かったが、来場者は昨年より180人減となりました。 |
| 高知プリンスホテル | 約200 | 日本の伝統文化である吟詠や剣詩舞日舞等で午後からのひととき、会員や出演者の皆様、又一般客の皆様のご鑑賞を頂き、共に風雅な心おむ貴重な時間を過ごさせて頂き、喜んで頂けたと思っております。 |
| 高知市立自由民権記念館 民権ホール | 約80 | 創立75周年を迎え、新たな気持ちで演奏会を行うことを目的とし、再度演奏する心構えや、どの様な音色を奏でるとお客様に届くのだろうか等、様々な事を勉強する良い機会となりました。お客様からは「一音一音がとても心地良かった」と感想をいただきました。 |
| 窪川四万十会館ホール | 297 | 三遊亭萬都・歌彦氏による落語会を開催しました。ともに高知県出身で、萬都氏は地元四万十町の出身。 初の地元凱旋公演となり、二人の活躍ぶりをはじめ、落語の魅力を多くの地域住民の方に知ってもらおう機会となりました。 |
| 香美市各所 | 542 | 昨年より、参加者数が増加しました。新プログラムが増えたため、一人で複数のプログラムを申し込まれる参加者が多く、これまで続けて来たことによるリピーターの存在を感じられるイベントとなりました。 |
| 高知県内 8 会場 | 160,923 | 秋の観光シーズンに高知ならではの食材の美味しさを満喫できる食イベントを開催しました。 高知県内 8 会場、それぞれの特色あるイベント開催で盛り上がり、昨年を上回る来場者に楽しんで頂けました。 |

| 部門名 | 行事名 | 主催団体 | 日程 |
|------|-------------------------|-----------------------|---------------------|
| 総合文化 | 第20回香美市芸術祭 | 香美市芸術祭実行委員会 | 9月24日（水）～11月16日（日） |
| | 高知県教育文化祭 | 高知県教育文化祭運営協議会 | 9月27日（土）～12月6日（土） |
| | 安田町芸能発表会 | 安田町文化協会 | 10月11日（土） |
| | 第30回宿毛市オールダパワー文化展と女のまつり | 宿毛市教育委員会 | 10月17日（金）～10月19日（日） |
| | 大豊町民文化祭 | 大豊町民文化祭実行委員会 | 11月2日（日） |
| | 第28回日高村文化祭 | 日高村文化推進協議会 | 11月3日（月・祝） |
| | 放送大学高知学習センター 文化祭2025 | 放送大学高知学習センター | 11月9日（日） |
| | 第31回潮風のキルト展 | 特定非営利活動法人 NPO砂浜美術館 | 11月14日（金）～11月16日（日） |
| | 安田町文化祭 | 安田町文化協会 | 11月15日（土）～11月16日（日） |

| 会 場 | 参加者数 (人) | 行事内容と成果等 |
|--|----------|--|
| 香美市立中央公民館、 香美市役所 | 1,050 | 香美市芸術祭は香美市文化協会員をはじめとし、市内の児童生徒、一般参加者が、日頃の文化活動の成果を発表する場であると共に、各会場にご来場いただいた多くの皆様の文化芸術を通じた交流を深める場として盛大に開催されました。 |
| 高知市立自由民権記念館、高知県立県民文化ホール（グリーン・オレンジ）、オーテピア、山田高校、須崎市立市民会館、四万十市総合文化センターしまんとぴあ、高知県教育センター、中小企業会館、のいちふれあいセンター、高知市立三里中学校、高知市文化プラザかるぽーと | 21,958 | 期間中14行事が実施されました。児童生徒数の減少等に伴い、発表数や応募数は減少していますが、保護者等にとっては子どもたちの文化的な活躍の場として期待は大きい。運営に苦勞している団体もあるが、継続できるよう支援していきます。 |
| 安田町文化センター | 101 | 文化教室生を中心に延べ90人の方が出演しました。詩吟や謡曲、バンドや創作ダンスなど37演目が披露され、安田はまゆう合唱団の生演奏による元気な合唱で閉会しました。 |
| 宿毛市立宿毛文教センター | 344 | 昨年に比べ文化展への作品出品数は増加しました。(66 → 97) 最終日の女のまつり(芸能発表会)も出演者の元気いっぱいのパフォーマンスに観客も盛り上がり楽しいひと時を過ごすことができました。 |
| 大豊町総合ふれあいセンター | 200 | 展示部門では、町民、児童生徒、文化協会会員の作品を展示し、舞台部門では、各出演者が日ごろの練習の成果を披露しました。舞台部門から展示部門に至るまで、町民に芸術文化に接する機会を増大させることができました。 |
| 日高村社会福祉センター 2階大ホール | 約170 | 11月3日(月・祝)に開催された第28回日高村文化祭では、浦安の舞にはじまり、環頭太鼓、一絃琴、太極拳、詩吟、朗読、舞踊、そして今年初参加となるよさこいまで、多彩な演目が披露されました。 会場は多くの来場者で賑わい、世代を超えて交流が生まれる温かな時間となりました。 |
| 放送大学高知学習センター | 98 | 公開講演会、サークル・同好会の催し物、同好会作品展示を主な内容として開催しました。それぞれに熱心に楽しんで参加していただくことができ、また、参加者同士の活発な交流も見られ、好評のうちに開催できました。 |
| 砂浜美術館 (高知県黒潮町・入野松原) | 1,621 | 全国各地から応募のあった116点のパッチワーク・キルト作品を3日間松原に展示しました。 たくさんの方にご来場いただき、木漏れ日ふりそそぐ松原でゆっくりと作品を楽しんでもらうことができました。 |
| 安田町文化センター | 283 | 町内の文化教室生をはじめ、園児や小中学生、一般応募者の作品が多数展示されました。「親子で本を楽しむ日」として、絵本の読み聞かせに園児たちが楽しく参加したほか、体験コーナーでは、子どもから大人まで多くの方が参加しました。 |

高知県芸術祭執行委員会 委員名簿

(任期：委嘱の日～令和8年3月31日)
(敬称略、委員長・副委員長を除き五十音順)

| 役職 | 氏名 | 所属職名等 |
|------|--------|--|
| 委員長 | 新納 朋代 | (株) テレビ高知 シニアエキスパート |
| 副委員長 | 鎌倉 昭浩 | (公財) 高知県文化財団理事長 |
| 委員 | 上本 竹永 | 高知県文化協会事務局長 |
| 委員 | 大原 恵里子 | 高知県立県民文化ホール館長 |
| 委員 | 織田 敦子 | 高知県立文学館学芸課長 |
| 委員 | 北村 真実 | NPO法人こうち音の文化振興会理事長 |
| 委員 | 中谷 有里 | 高知県立美術館主任学芸員 |
| 委員 | 山口 隆広 | (公財) 高知県観光コンベンション協会 プロモーション部プロモーション課長 |
| 委員 | 吉岡 一洋 | 高知大学人文社会科学系教育学部門 地域協働学部 教授 |
| 委員 | 渡部 淳 | 高知県立高知城歴史博物館長 |

第75回 高知県芸術祭事業実施報告書

発行日 令和8年3月21日

発行 高知県芸術祭執行委員会
高知市高須353-2(公益財団法人高知県文化財団)
TEL 088-866-8013 FAX 088-866-8008

印刷 西富謄写堂
高知市城山町 TEL 088-831-6820